

町内小学生が沖縄の児童と交流 初めてのスキーに興奮

1月11日、沖縄県から児童66名が神室スキー場を訪れ、初体験のスキーを楽しみました。最上広域市町村圏事務組合が行う中部広域圏児童派遣交流事業で、恒例のレクリエーションであるスキー体験。初めて雪を見たという児童もあり、雪上で思うように動かない体にあちこちから悲鳴があがっていました。交流も広がり、スキーを通して金山の児童とも友情が深まっていました。



町内小学校で書き初め大会 堂々とした筆運び、真剣に

新春恒例の書き初め大会が、町内各小学校で開催され、児童たちは真剣な表情で筆を動かし、立派な書をしたためていました。明安小学校5年生の課題は「進む勇氣」。丹航くんは「まあまあの出来栄」と満足した様子でにっこり。続けて「今年は最上級生になる。同級生8人と協力して、下級生の手本となるように行動したい」と力強く新年の目標を話してくれました。



今季の前哨戦にふさわしい熱戦 りゅう馬スプリントスキーフェスタ

有屋スキースポーツ少年団（小沼慶幸会長）が主催する「りゅう馬スプリントフェスタ2018」が、1月7日神室スキー場で開催されました。8回目の今年は、4チームが参加し、総勢約60名で熱戦を展開。第1回大会時に小学6年生だった2名が招待選手として出場、大会に華を添えました。試合後にはライバルであり仲間である選手同士で今季の健闘を約束していました。



有屋小でなしだんご飾り 1年間を幸せに過ごせますように

1月16日、有屋小学校の1・2年生16名が、地域の皆さんと一緒に「なしだんご飾り」に挑戦しました。なしだんごは小正月の伝統行事で、1年の幸せを願うもの。初めて作ったという池田真真くん（1年）は「おばあちゃん達に手伝ってもらったので上手にできた」と笑顔。完成したなしだんごは、有屋小学校の玄関ホールに2月中旬頃まで飾られる予定です。



まちの わだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

神室雪まつり開催 冬のグリーンバレーを鮮やかに彩る

1月21日、グリーンバレー神室を会場に、神室雪まつりが開催され、親子連れなど多くの方々に賑わいました。

雪が降り続く中、寒さを吹き飛ばすステージイベントが繰り広げられ、ゲストとして登場した観光大使の齊藤兄弟も会場を盛り上げました。日が落ちると、毎年恒例の雪中花火を打ち上げ。大きな歓声とともに、カラフルな花火が白銀のキャンパスに写し込まれました。町外から訪れたという方は「冬の花火は夏と違った良さがある。来年も楽しみ」と話し、熱心に写真撮影。祭りの締めくくりとして、松明からお歳灯へ点火され、来場者は温まりながら今年の健康を祈願しました。

金山スポ少野球部がティーボールを贈呈 めごたまにも野球の楽しさを

1月12日、金山スポーツ少年団野球部育成会の皆さんが認定こども園めごたまを訪れ、ティーボール3セットを寄贈しました。金山スポ少野球部顧問である栗田一直さんは「幼い頃から野球に触れてほしい」とメッセージ。早速、それに応えるように元気いっぱいボールを打ち込んでいました。将来、園児たちの中からプロ野球で活躍する選手が現れることを夢見てやみません。



みすぎ荘で鏡開き・お歳灯 昔ながらの行事で今年の安寧を

1月11日、特別養護老人ホームみすぎ荘で鏡開き・お歳灯が行われ、利用者の皆さんが今年1年の安寧を祈りました。鏡開きは、年男・年女である利用者6名の中から、大正11年生まれ阿部アサエさんが岸理事長、阿部施設長とともに実施。その後お歳灯が行われ、新年を迎えた喜びを祝いあい、ますますの長寿を祈念するとともに、無病息災を祈願していました。